

斎場の在り方が変わります

市では、火葬事業を取り巻く郡上市の現状から、最適な火葬事業の在り方を検討するため、各地区の自治会長などの市民代表による懇話会で協議を重ね、斎場の「基本的考え方」と「整備方針」を明らかにしました。平成26年度には「火葬場整備基本計画」を策定し、その中で、斎場を将来的には南部・北部の2施設とすることにしており、「八幡斎苑さつき」を南部の拠点施設として、また現在建設中の「(仮称)郡上市北部斎場」を北部の拠点施設として位置付け、斎場の整備を進めることとなりました。



▲【北部施設】(仮称)郡上市北部斎場完成予想図

◎南部地域の斎場の考え方：

美並、明宝、和良地域のみなさんに長い間ご利用いただけてきました美並斎場、明宝斎場、和良斎場の3施設は老朽化等が進んでいることから、平成29年3月31日をもって廃止し、南部施設へ統合します。美並、明宝、和良地域のみなさんにはご不便をおかけしますが、ご理解いただき、今後は南部施設となる「八幡斎苑さつき」のご利用をお願いします。

◎その他の斎場の考え方：

大和斎場は、平成36年4月以降に廃止、高鷲斎場は、今後の施設の状態を見極めつつ存続が難しくなった時点で廃止し、北部施設への統合をめざします。

なお、この方針は、大規模な改修の必要性や利用の減少などの情勢を見極め、存続が難しくなった場合は、随時協議し変更することもあります。当面は両施設とも今までどおりご利用いただくことができますのでよろしくお願い致します。

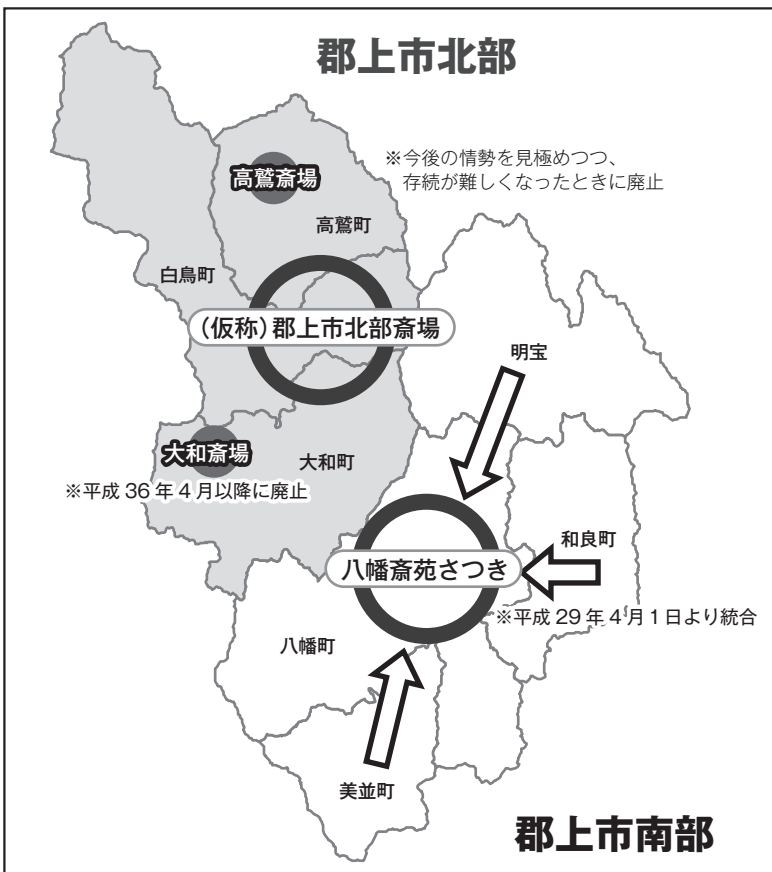
◎平成29年度に完成する「(仮称)郡上市北部斎場」：

現在、白鳥町に建設中の「(仮称)郡上市北部斎場」が、いよいよ平成29年度中に完成となる見込みです。新しい施設は、旧白鳥斎場跡地を造成し建設しています。また、建物の構造はRC造ですが待合棟など一部は木造となります。東海北陸自動車道が眼下に走り、待合室やロビーからは白鳥町が一望できる和風の建物となっており、最新の設備を備える

環境に優しい施設となっています。火葬炉は人体用が3基設置され、1日に3件まで火葬が可能です。また、旧施設にはなかった動物用火葬炉も1基設置され、ペットの火葬に対応できます。なお、環境保全のためバグフィルター(集塵機)を新たに設置します。告別室、収骨室、待合ロビーのほか、待合室も和室と洋室の2部屋を用意します。

完成は今秋の予定ですので、ご不便をおかけしておりますが、もうしばらくの間ご協力をお願いします。

問 総務部市民課
67・1816



▲【南部施設】八幡斎苑さつき